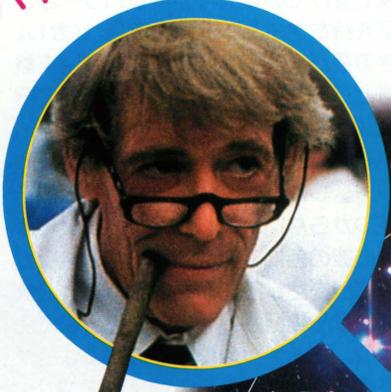


# creator

PRODUCED BY SAUL ZUCKERMAN AND PAUL WYPER. EXECUTIVE PRODUCERS: ROBERT ROBERTS  
 A STEPHEN FREEDMAN PRODUCTION. AN UFA PICTURES FILM  
 PETER O'TOOLE MARIEL HEMINGWAY VINCENT SPANO  
 CREATED BY VIRGINIA WAXSON DANIEL JOHNSON  
 "THE PROVERBIAL LEWIS" BY CHARLES MALVILL BY JERRY LEVIN  
 BY JERRY LEVIN BY STEPHEN FREEDMAN  
 BY UFA PICTURES



バイオで(愛)も創ってしまう...ノーベル賞博士がいま現代のタブーに挑んだ!



亡き妻の細胞と現代ギャルの卵子で

人類初の"バイオ美女"が誕生した時...

全米騒然のセンセーショナルラブ・コメディが上陸!

- ピーター・オトゥール
- マリエル・ヘミングウェイ
- ビンセント・スパーノ
- バージニア・マドスン
- デビッド・O・ステアース
- ジョン・ディーナー



# クリエイター

監督 ● アイバン・バサル **TOWA** 原作・脚本 ● ジェレミー・レブン  
 製作総指揮 ● ウォルフガング・グラッテス 製作 ● スティーブ・フリードマン 撮影 ● ロビー・グリーンバーグ  
 音楽 ● シルベスター・リバイ 編集 ● リチャード・チュウ 美術 ● ジョサン・F・ルッソ  
 カラー作品 東宝東和提供 アメリカ映画

# 求む、健康で容姿端麗な卵子!

★マッド・サイエンティストのトーンでもない大発明!

いま、全米をドッキリさせて、大爆笑に巻き込んだ話題の「センセーショナル・ラブ・コメディ」、「クリエイター」がやってくる!!

最先端バイオ・テクノロジー（生命科学）。それを使って、亡き妻の細胞から、バイオ美女を生み出す…現代科学のタブーに挑む天才科学者がいた。彼を阻止しようとするライバル科学者たち。物語はコミカルに、そしてアツと驚くブラック・ユーモアを織り混ぜながら展開していく。

出演は名優ピーター・オトゥールとマリエル・ヘミングウェイという異色の顔あわせ。ジェレミー・レブンのベスト・セラーを原作に、作者自身が脚本を担当、監督に俊英アイヴァン・パサルが当たっている。



## ★怖い! だけど見たい! 最新テクノロジーのすべて!

実験室のピーカーの中で人間誕生!! そういう夢のようなバイオ科学の高度テクニックが、本篇で次々登場する。「現実的でショッキング!」にするため、USC大から招かれた科学者たちの特別プロジェクトがその仕掛け人だ。画面に登場する精密な実験器具や装置。主人公ハリーの実験でのふるまい。専門家の眼から見てても本当にそれが起こっている!と思わせる程のリアリティに徹した。まだまだ遠い未来の話と思われていた、ひとつの細胞から60兆へ増殖させる人間クローン。ハリーが生んだ「バイオ美女」は果たしてどんな姿で現われるのか!?

カラー作品 / アメリカ映画 ◆ 東宝東和提供



# creator

クリエイター



## ★“バイオ美女”を産むために、ヘルシー・ギャルをつかまえろ!

ノーベル賞も受けている天才科学者ハリーは、大学に研究室を持ち学生たちを教える身。しかし、それは表向きの姿。その裏で、彼は自宅に秘密実験室を持ち、何とバイオで美女を生みだす研究に没頭していた。だが、そのために若い女性のイキのいい卵子が必要なのだ。女の子を探すために、街に飛び出すハリー。しかし、条件に見合った人間モルモットは見つからない。疲れはて、カフェでほんやりたたずむ彼の前に、自称“多淫症女”メリが現れる。メリに訳を話して卵子をもらうことに成功するが、なぜかその日からメリはハリー家に住み込んでしまう。さあメリの提供した卵子はバイオ美女に変身することはできるのか——!?



## ★バイオ科学の奇跡!? いま全米で話題騒然!

### ●エンターテインメントトゥデイ

ピーター・オトゥールは亡き妻の細胞を保存し続けたおかしな科学者をコミカルに演じていて、それは「マイ・フェア・レディ」の原作となった「ビッグマリオン」に登場する言語学者よりも痛快なマッド・サイエンティストだ。

### ●NBCニュース

ピーター・オトゥールとマリエル・ヘミングウェイはまるでウッディ・アレンとミア・ファローのような知的でシャリした名演技で観客を大いに笑わせてくれる。

### ●LAタイムズ

「クリエイター」は人間の生がいかに正しくあるべきかという問題を投げかけている。

### ●アトランタ・ジャーナル

オトゥールの演じるノーベル賞学者は、本当の命のあり方、人の本来の生き方について我々の心を大きく揺さぶる。

### ●サム・ビー・マガジン

「フランケンシュタインの花嫁」を現代に移しかえて、研究所の中の小さなフラスコを巡るコメディとして見事に開花させている。

■前売券(一般1200円/学生1100円)絶賛発売中!

9月19日(土)よりロードショー

公園通り入口・丸井向い側

渋谷ジョイシネマ (462) 2539